

事業所名 やすらぎ苑山形 さくら

作成日: 令和 8 年 3 月 1 日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	13	(職員を育てる取組) 研修の数が減っている。	カンファレンスの中での内部研修や外部研修にも経験年数に合った研修に参加したりと多くの研修に参加していく。	①カンファレンスの中での内部研修(身体拘束研修など) ②年間の研修の計画を立て受講者は感想・報告をする	12ヶ月
2	21	(利用者同士の関係の支援) 居室で過ごす利用者が決まっているため利用者同士の関りが持てるようにする。	一人一人の思いを大切にしながら、活動を通して利用者同士が一緒に過ごせるように支援していく。	①家事活動・レク・創作活動に参加して頂く。 ②出来ないことは一緒に取り組んでいく。	12ヶ月
3	40	〈食事を楽しむ事の出来る支援〉 出来る利用者だけに家事をお願いすることがある。	家事活動で一人一人の利用者に合った調理の分担を提供し『食』への楽しみを支援していく。	①当番制を取り入れる。 ②利用者一人一人に合った家事手伝いを支援する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に 要する期間
1	13	○職員を育てる取り組み 研修の機会が少ない。	内部研修の機会を増やし、職員の資質向上を図る。	・研修の年間計画を作成し、それに基づいた研修を行う。職員が参加しやすい日程調整をする。	12ヶ月
2	34	○急変や事故発生時の備え 定期的な訓練が行えておらず夜間帯等での対応に職員の不安がある。	訓練や研修を行い職員の不安が無くなるようにする。	・マニュアルに目を通し実践できるようにする。初期対応や応急処置の訓練を行う。	12ヶ月
3	49	○日常的な外出支援 感染症防止の面や人員不足により外出の機会が減っている。	ドライブや散歩の回数を増やしていく	・感染予防に努めながら利用者の希望に添える様に努めていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。